

国内ホテル、新たに6万室

20年までに、五輪時なお不足

国内ホテルの新規客室業。直近4年と比べて2倍のペースになる。みずほ総合研究所のデータによると、外資系やビジネスホテルが東京五輪やインバウンド(訪日客)による需要を見込んで相次ぎ開業。直近4年と比べて2倍のペースになる。みずほ総合研究所のデータによると、外資系やビジネスホテルが東京五輪やインバウンド(訪日客)による需要を見込んで相次ぎ開業。直近4年と比べて2倍のペースになる。みずほ総合研究所のデータによると、外資系やビジネスホテルが東京五輪やインバウンド(訪日客)による需要を見込んで相次ぎ開業。

新設。他のブランドも含めて国内拠点数を2倍の約20カ所に増やす。地方の観光地への集客効果が期待されている。

客室数の増加をけん引するのはビジネスホテルだ。共立メンテナンスは「ドリーミン」を18年3月までに8カ所(約1500室)を新設する。ただ、五輪時の不足は約3万5000室の追加需要が発生、1万室以上が不足すると予測する。